



## 食道がんから良性の病気まで 内視鏡診療で広がる食道治療の可能性

広島市民病院の食道疾患センターでは、食道がんのステージなど病状に応じて、専門的な知識と経験をもとにした医療を行っています。その中で、内視鏡診療は、がんの早期発見や診断、内視鏡手術によるがん治療などにおいて重要な役割を担っています。

一方で、食道疾患として、がん以外の良性の病気で受診される方も増えており、その代表が『胃食道逆流症』です。今回は、当センターで新たに導入した、胃食道逆流症に対する内視鏡手術についてご紹介します。

なかがわ まさひろ

**中川 昌浩**

広島市立広島市民病院 内視鏡内科 主任部長

みやはら こうじ

**宮原 孝治**

広島市立広島市民病院 内科 部長

ほり しんいちろう

**堀 伸一郎**

広島市立広島市民病院 内科 部長

おおばやし ゆか

**大林 由佳**

広島市立広島市民病院 内科 部長

写真の人物  
Profile

# 01. 胃食道逆流症について

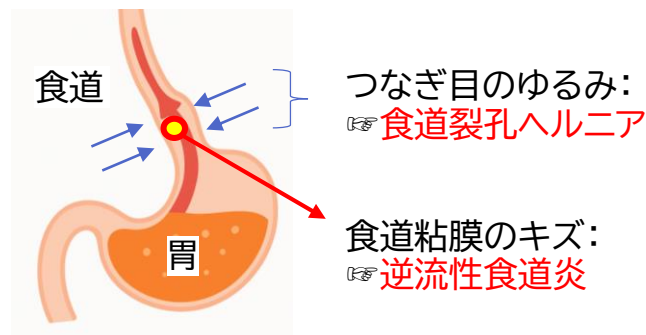
Q. 胃食道逆流症とはどんな病気なの？

**胃食道逆流症** は、胃酸など胃内容物が食道に逆流し、胸やけや口腔内への逆流などの不快な症状がでる病気です。

食道と胃のつなぎ目にある食道裂孔のゆるみ（**食道裂孔ヘルニア**）が、胃食道逆流症の原因となります。

胃食道逆流症のなかで、食道粘膜にキズができた状態を、**逆流性食道炎** といい、重症化すると、出血したりや食道が狭くなったりすることもあります。

## 胃食道逆流症に関連する病態



逆流による症状やキズがある状態：  
↳ **胃食道逆流症**

Q. 何が原因で起こるものなの？

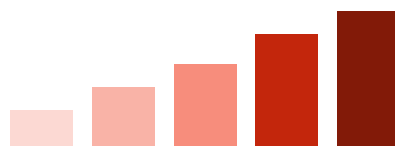
加齢による食道裂孔ヘルニア(ゆるみ)の悪化のほか、食べすぎ・飲みすぎ、夜遅い食事などの生活習慣、前かがみ・猫背などの姿勢、ストレス、激しい運動、一部の薬剤などが原因となると考えられています。

Q. どのような治療があるの？

まずは食事や生活習慣の改善、飲み薬による **内科治療** が行われます。それでも良くならない場合や、食道裂孔ヘルニア(ゆるみ)が大きい場合は、お腹を開く**外科手術** が行われますが、最近では、**内視鏡手術** もできるようになってきました。内視鏡手術は、内科治療と外科手術のちょうど中間の位置づけになるといわれています。

## 治療選択の目安

✓ 症状 : 軽  
✓ ゆるみ : 小



✓ 症状 : 強  
✓ ゆるみ : 大

内科治療



内視鏡手術



外科手術

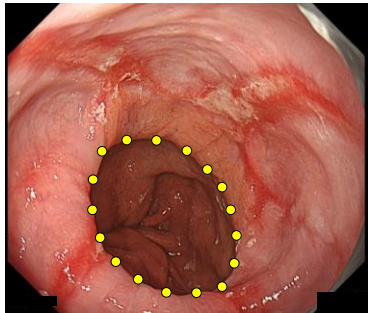


## 02. 胃食道逆流症の内視鏡手術

Q. 胃食道逆流症に対する内視鏡手術とは、どのような治療なの？

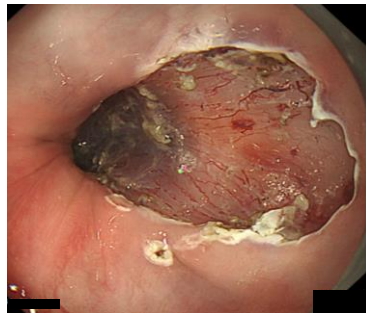
**内視鏡的逆流防止粘膜切除術**は、食道胃接合部(食道と胃のつなぎ目)のゆるんだ粘膜を内視鏡で切除し、ゆるみを矯正することで逆流を抑えます。2022年4月から保険適用となった比較的新しい治療で、全国的にも施行している施設は限られています。

治療前



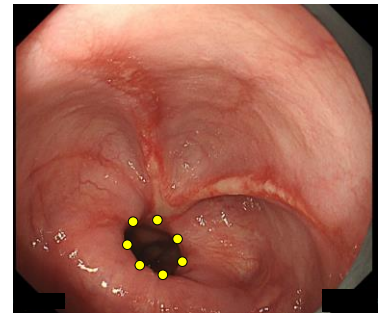
食道と胃のつなぎ目(点線)が広くゆるんでおり、逆流のため赤いキズができています。

治療直後



粘膜を切除した後です。この後、1-2か月かけて縮みながら粘膜が治っていきます。

治療3か月後



ゆるみが矯正され、つなぎ目(点線)が狭くなっています。赤いキズも改善しています。

Q. 内視鏡手術は痛い？入院期間などの実際は？

内視鏡手術は、眠った状態で行い、身体の上には傷を付けないので、痛みはほとんどありません(多少違和感が出ることはありますが、通常、数日で改善します)。順調にいけば術後2日目から食事を再開し、術後4日目に退院が可能となります。

Q. 内視鏡手術が勧められるのは、どのような患者さんのの？

**飲み薬のみでは症状が残る患者さん**や、**飲み薬を減らしたい(やめたい)患者さん**は、内視鏡治療が選択肢のひとつになります。

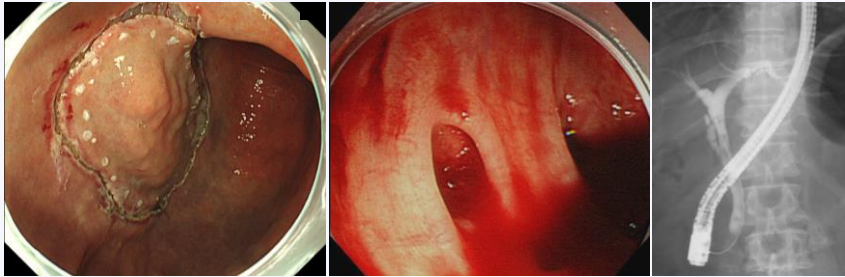
詳しい適応は、精密検査\*のうえ医師が判断しますが、食道裂孔ヘルニア(ゆるみ)が大きい場合は、外科手術の方が良いとされています。また、精密検査の結果、症状に反して胃食道逆流が強くない場合は、食道や胃以外の検査が必要な事があります。

\*当院では、内視鏡検査のほか、食道内圧検査、24時間食道pHモニタリングなどの専門的な検査が可能です。

# 03. 内視鏡チームのご紹介

Q. 広島市民病院の内視鏡チームの特徴は？

● 高度ながん診療にも、救急疾患にも対応できます！



(例) がん内視鏡手術      消化管出血      胆膵疾患

● 専門的で丁寧な検査や治療がモットーです！

少し待ち時間や検査時間が長くなる場合がありますが、丁寧で精密な診療を心がけています。検査が長くなる場合は、希望に応じて鎮静・鎮痛を行います。

● 炎症性疾患、機能性疾患などにも幅広く対応します！



実際の診療の様子

## 内視鏡件数(年間)\*

上部内視鏡検査 : 約5,200  
下部内視鏡検査 : 約3,200  
ESD(がん治療) : 約 370  
EMR(ポリープ) : 約 640  
ERCP(胆膵) : 約 580  
止血術 : 約 240

\*2022-24年の平均件数

## かかりつけの先生へ

検査や治療をご希望の場合は、内科までご紹介ください。

写真、医師名は、  
2026年4月時点

上部消化管グループ

下部消化管グループ

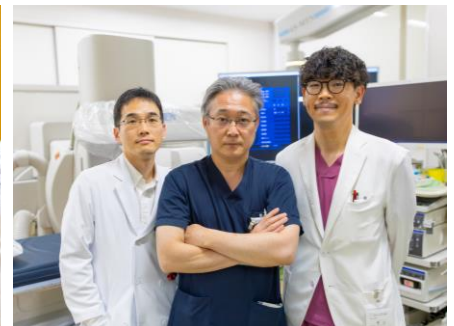
胆膵グループ



(宮原、中川、堀、大林)



(大森、青山、國弘、西村)



(山崎、平尾、井上)